



2019年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月19日

上場会社名 北川精機株式会社
 コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 雅敏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 小林 由和 TEL 0847-40-1200
 定時株主総会開催予定日 2019年9月26日 有価証券報告書提出予定日 2019年9月27日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期の連結業績(2018年7月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|-------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年6月期 | 5,408 | 8.7 | 576 | 19.8 | 554 | 15.9 | 160 | 40.7 |
| 2018年6月期 | 4,977 | 2.5 | 481 | 13.9 | 478 | 26.4 | 270 | 13.4 |

(注) 包括利益 2019年6月期 241百万円 (30.9%) 2018年6月期 349百万円 (2.6%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2019年6月期 | 20.95 | | 10.0 | 7.9 | 10.7 |
| 2018年6月期 | 35.31 | | 19.4 | 7.2 | 9.7 |

(参考) 持分法投資損益 2019年6月期 百万円 2018年6月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年6月期 | 7,079 | 2,118 | 23.8 | 220.74 |
| 2018年6月期 | 6,881 | 1,884 | 22.2 | 199.99 |

(参考) 自己資本 2019年6月期 1,688百万円 2018年6月期 1,529百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2019年6月期 | 348 | 121 | 111 | 1,768 |
| 2018年6月期 | 1,590 | 101 | 322 | 2,359 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2018年6月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 | | | |
| 2019年6月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 | | | |
| 2020年6月期(予想) | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 | | | |

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,550 | 34.6 | 110 | 56.7 | 100 | 58.9 | 70 | 49.4 | 9.15 |
| 通期 | 4,200 | 22.3 | 350 | 39.3 | 340 | 38.7 | 270 | 68.5 | 35.30 |

(注) 2020年6月期の連結業績予想につきましては、建材機械事業を担っておりました当社連結子会社のキタガワエンジニアリング株式会社及びその子会社が2020年6月期第1四半期より連結範囲の対象から除外されております。詳細は、[添付資料] 3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年6月期 | 7,649,600 株 | 2018年6月期 | 7,649,600 株 |
| 期末自己株式数 | 2019年6月期 | 1,838 株 | 2018年6月期 | 1,796 株 |
| 期中平均株式数 | 2019年6月期 | 7,647,770 株 | 2018年6月期 | 7,647,804 株 |

(参考)個別業績の概要

2019年6月期の個別業績(2018年7月1日～2019年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年6月期 | 3,844 | 7.4 | 300 | 13.3 | 291 | 7.4 | 79 | 61.5 |
| 2018年6月期 | 3,579 | 3.0 | 265 | 26.1 | 271 | 15.2 | 207 | 29.1 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年6月期 | 10.42 | |
| 2018年6月期 | 27.08 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年6月期 | 4,881 | 1,015 | 20.8 | 132.79 |
| 2018年6月期 | 4,772 | 934 | 19.6 | 122.20 |

(参考) 自己資本 2019年6月期 1,015百万円 2018年6月期 934百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値等と異なる場合があります。なお、業績予想につきましては、【添付資料】3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 2 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| 連結損益計算書 | 6 |
| 連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 7 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (表示方法の変更) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (1株当たり情報) | 11 |
| (重要な後発事象) | 11 |
| 4. その他 | 12 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、設備投資や雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調で推移する一方、世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中国をはじめとするアジア新興国経済の減速感など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、当連結会計年度より新中期経営計画「革新と創造への挑戦～独創性で輝き続けるKITAGAWAへ～」をスタートしております。基本的な方針は前計画を引き継ぎながらも、環境の変化に合わせ、より機動的・能動的に新たな市場の動きを捉えて事業化を目指すとともに、将来に向けて安定的・持続的な成長基盤を整備するため、3つの重点項目「独自コア技術の新分野・新市場への積極展開」「徹底した工程管理と原価削減による収益性・競争力・製品/サービス品質の向上」「創造性と自主性に溢れ、継続的な成長を支える活力ある強い組織作り」に積極的に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高5,408百万円（前期比8.7%増）、営業利益576百万円（前期比19.8%増）、経常利益554百万円（前期比15.9%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失へ減損損失247百万円を計上したこと等により160百万円（前期比40.7%減）となりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の納期・受注金額にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(産業機械事業)

プリント基板用及び基板関連プレス装置や、車載基板等の成形用プレス装置、自動車部品製造・樹脂成形装置など多様な受注を獲得する中で、工程管理や原価削減への取り組みの徹底を継続的に進めた結果、売上高3,889百万円（前期比8.5%増）、営業利益321百万円（前期比24.7%増）となりました。

(建材機械事業)

合板プレス装置を中心に国内外向けの売上が堅調に推移したため、売上高1,350百万円（前期比7.6%増）、営業利益238百万円（前期比10.7%増）となりました。

(その他)

油圧機器の売上が堅調に推移しており、売上高168百万円（前期比24.1%増）、営業利益18百万円（前期比49.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

総資産は7,079百万円となり、前連結会計年度末に比べて197百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金769百万円、仕掛品171百万円の増加と、現金及び預金590百万円の減少によるものであります。

(負債)

負債は4,960百万円となり、前連結会計年度末に比べて36百万円の減少となりました。これは主に、前受金214百万円の増加と、長期借入金101百万円の減少によるものであります。

(純資産)

非支配株主持分を含めた純資産は2,118百万円となり、前連結会計年度末に比べて233百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益160百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ590百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は348百万円（前期は1,590百万円の獲得）となりました。収入の主なものは、税金等調整前当期純利益299百万円、減損損失247百万円、前受金の増加額215百万円、支出の主なものは、売上債権の増加額769百万円、たな卸資産の増加額182百万円、法人税等の支払額141百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は121百万円（前期は101百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出108百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は111百万円（前期は322百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出143百万円であります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

| | 2017年6月期 | 2018年6月期 | 2019年6月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 19.8 | 22.2 | 23.8 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 61.1 | 46.1 | 53.5 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) | 23.4 | 1.5 | △6.7 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 2.5 | 39.8 | △9.5 |

- (注) 自己資本比率：自己資本／総資産
 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い
- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
 - 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。
 - キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
 - 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

本日公表の「特定子会社の異動及び中期経営計画の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、当社がその発行済株式総数の48.0%を保有する、当社連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社の株式すべてを同社に譲渡する予定であります。従いまして、2020年6月期第1四半期よりキタガワエンジニアリング株式会社は当社の連結から除外されます。

建材機械事業（キタガワエンジニアリング株式会社及びその子会社1社）を除外した当社グループの【実績(ご参考)】 【業績予想】 【中期経営計画】は、次のとおりであります。

(% : 増減比率)

| | 2019年6月期 【実績(ご参考)】 | 2020年6月期【業績予想】 | | 2021年6月期【中期経営計画】 | |
|---------------------|-----------------------|----------------|-------|------------------|-----|
| | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 売上高 | 4,057 | 4,200 | 3.5 | 4,300 | 2.4 |
| 営業利益 | 337 | 350 | 3.6 | 380 | 8.6 |
| 経常利益 | 318 | 340 | 6.8 | — | — |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 91 | 270 | 196.4 | — | — |

※本株式譲渡に伴い、2020年6月期の個別決算において、関係会社株式売却益約400百万円を特別利益として計上する予定ですが、連結決算に与える影響は現在精査中であり、他の要因も含め連結業績予想の修正が生じた場合には、速やかに開示します。

当社は、当社グループのコア事業である「産業機械事業」において、当社独自の「複合制御システム」をベースに、世界最先端を支えるプリント基板成形プレス装置の開発や、樹脂成形装置、FAシステムなどの開発、製造を行ってまいりました。これからも「英知と創造」を経営理念として、独自の「熱・圧力制御技術」を基本に先端技術との融合を図りながら、高性能・高品質なオリジナルティあふれる製品の開発、製造に注力し、業容の拡大を図ってまいります。

《平成29年度戦略的基盤技術高度化支援事業》

当社は、当社の提案した研究開発計画（大型で積層構成自由度の高いCFRTP一方向連続繊維積層板の量産技術開発）が、経済産業省の平成29年度戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)に採択されており、共同研究実施機関と連携して開発の完了と事業化に向け邁進してまいります（予定：2020年3月まで）。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、財務体質の強化と今後の事業展開への対応を図るために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当維持を基本方針に、株主の皆様への利益還元を充実していくことが、重要な経営課題であると認識しております。

しかしながら、当社の業績は改善傾向にあります。期末配当につきましては、利益剰余金の状況を勘案し、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。次期配当につきましても、同様の理由から、配当を見送らせていただきます。

なお、繰越利益剰余金の欠損を填補し、財務内容の健全化を図るとともに、株主還元を含む資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を2019年9月26日開催予定の定時株主総会に付議する旨を本日公表しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年6月30日) | 当連結会計年度 (2019年6月30日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,362,009 | 1,771,747 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,211,025 | 1,980,741 |
| 商品及び製品 | 13,602 | 6,187 |
| 仕掛品 | 656,073 | 827,388 |
| 原材料及び貯蔵品 | 119,410 | 137,963 |
| その他 | 36,320 | 51,730 |
| 貸倒引当金 | △4,225 | △5,502 |
| 流動資産合計 | 4,394,215 | 4,770,255 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,644,875 | 3,666,687 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △3,047,081 | △3,090,005 |
| 建物及び構築物(純額) | 597,794 | 576,681 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,679,059 | 1,759,800 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △1,599,583 | △1,627,101 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 79,476 | 132,698 |
| 土地 | 1,495,753 | 1,291,323 |
| 建設仮勘定 | 61,479 | 8,066 |
| その他 | 272,657 | 268,721 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △204,290 | △202,541 |
| その他(純額) | 68,367 | 66,180 |
| 有形固定資産合計 | 2,302,869 | 2,074,951 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 22,115 | 22,124 |
| 投資有価証券 | 46,655 | 49,424 |
| 繰延税金資産 | 51,793 | 93,988 |
| その他 | 75,015 | 79,230 |
| 貸倒引当金 | △10,878 | △10,815 |
| 投資その他の資産合計 | 162,585 | 211,828 |
| 固定資産合計 | 2,487,570 | 2,308,904 |
| 資産合計 | 6,881,786 | 7,079,159 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2018年6月30日) | 当連結会計年度 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 848,003 | 830,940 |
| 電子記録債務 | 421,875 | 391,396 |
| 短期借入金 | 1,375,000 | 1,375,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 123,676 | 121,332 |
| 前受金 | 380,836 | 595,487 |
| 未払法人税等 | 94,804 | 76,785 |
| 賞与引当金 | 26,032 | 29,842 |
| 役員賞与引当金 | 9,600 | — |
| 製品保証引当金 | 36,512 | 39,032 |
| 受注損失引当金 | 28,800 | — |
| その他 | 251,457 | 209,521 |
| 流動負債合計 | 3,596,597 | 3,669,339 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 929,435 | 827,961 |
| 繰延税金負債 | 22,618 | 924 |
| 役員退職慰労引当金 | 50,027 | 62,347 |
| 退職給付に係る負債 | 387,301 | 388,412 |
| その他 | 11,199 | 11,912 |
| 固定負債合計 | 1,400,581 | 1,291,557 |
| 負債合計 | 4,997,179 | 4,960,897 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,335,010 | 1,335,010 |
| 資本剰余金 | 1,340,745 | 1,340,745 |
| 利益剰余金 | △1,154,118 | △993,880 |
| 自己株式 | △1,094 | △1,114 |
| 株主資本合計 | 1,520,542 | 1,680,760 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,462 | 2,770 |
| 為替換算調整勘定 | 7,457 | 4,653 |
| その他の包括利益累計額合計 | 8,919 | 7,424 |
| 非支配株主持分 | 355,145 | 430,077 |
| 純資産合計 | 1,884,606 | 2,118,262 |
| 負債純資産合計 | 6,881,786 | 7,079,159 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 4,977,454 | 5,408,635 |
| 売上原価 | 3,777,162 | 4,058,564 |
| 売上総利益 | 1,200,291 | 1,350,070 |
| 販売費及び一般管理費 | 719,142 | 773,542 |
| 営業利益 | 481,149 | 576,528 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 734 | 696 |
| 受取配当金 | 882 | 686 |
| 受取賃貸料 | — | 8,400 |
| 補助金収入 | 30,593 | 20,164 |
| その他 | 15,110 | 6,019 |
| 営業外収益合計 | 47,321 | 35,967 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 40,321 | 37,040 |
| 為替差損 | 1,547 | 15,493 |
| その他 | 8,030 | 5,285 |
| 営業外費用合計 | 49,899 | 57,819 |
| 経常利益 | 478,571 | 554,676 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | 20,606 | 15,130 |
| 特別利益合計 | 20,606 | 15,130 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 247,496 |
| 役員退職慰労金 | 38,500 | — |
| 役員弔慰金 | 7,500 | — |
| 社葬費用 | 9,413 | — |
| 災害による損失 | — | 22,319 |
| 特別損失合計 | 55,413 | 269,816 |
| 税金等調整前当期純利益 | 443,764 | 299,990 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 107,845 | 121,482 |
| 法人税等調整額 | △14,689 | △64,463 |
| 法人税等合計 | 93,155 | 57,019 |
| 当期純利益 | 350,608 | 242,970 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 80,596 | 82,732 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 270,012 | 160,238 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 350,608 | 242,970 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,543 | 1,308 |
| 為替換算調整勘定 | 590 | △2,803 |
| その他の包括利益合計 | △952 | △1,495 |
| 包括利益 | 349,656 | 241,475 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 269,059 | 158,743 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 80,596 | 82,732 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2017年7月1日 至2018年6月30日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|--------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,335,010 | 1,340,745 | △1,424,130 | △1,094 | 1,250,529 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 270,012 | | 270,012 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 270,012 | — | 270,012 |
| 当期末残高 | 1,335,010 | 1,340,745 | △1,154,118 | △1,094 | 1,520,542 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|---------------|---------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 3,005 | 6,866 | 9,871 | 279,748 | 1,540,150 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 270,012 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △1,543 | 590 | △952 | 75,396 | 74,444 |
| 当期変動額合計 | △1,543 | 590 | △952 | 75,396 | 344,456 |
| 当期末残高 | 1,462 | 7,457 | 8,919 | 355,145 | 1,884,606 |

当連結会計年度(自2018年7月1日 至2019年6月30日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|--------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,335,010 | 1,340,745 | △1,154,118 | △1,094 | 1,520,542 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 160,238 | | 160,238 |
| 自己株式の取得 | | | | △20 | △20 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | | | 160,238 | △20 | 160,218 |
| 当期末残高 | 1,335,010 | 1,340,745 | △993,880 | △1,114 | 1,680,760 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|---------------|---------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 1,462 | 7,457 | 8,919 | 355,145 | 1,884,606 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 160,238 |
| 自己株式の取得 | | | | | △20 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 1,308 | △2,803 | △1,495 | 74,932 | 73,437 |
| 当期変動額合計 | 1,308 | △2,803 | △1,495 | 74,932 | 233,655 |
| 当期末残高 | 2,770 | 4,653 | 7,424 | 430,077 | 2,118,262 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 443,764 | 299,990 |
| 減価償却費 | 77,295 | 89,467 |
| 減損損失 | — | 247,496 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △528 | 3,809 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | 1,600 | △9,600 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 10,901 | 12,320 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | △18,388 | 2,520 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | △218 | △28,800 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △9,139 | 1,236 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 41,929 | 1,111 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,617 | △1,383 |
| 支払利息 | 40,321 | 37,040 |
| 為替差損益(△は益) | 2,294 | 6,194 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △750 |
| 固定資産除却損 | 9 | 1,286 |
| 災害損失 | — | 22,319 |
| 受取保険金 | △20,606 | △15,130 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 957,583 | △769,900 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △280,327 | △182,991 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 256,372 | △47,539 |
| 前渡金の増減額(△は増加) | 5,527 | △14,491 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 90,306 | 215,284 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 46,908 | △64,567 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △5,990 | 19,631 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | △12,705 | 1,044 |
| その他 | △11,276 | 10,160 |
| 小計 | 1,614,016 | △164,239 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,617 | 1,383 |
| 利息の支払額 | △39,947 | △36,873 |
| 保険金の受取額 | 81,769 | 15,130 |
| 災害損失の支払額 | — | △22,319 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △66,881 | △141,637 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,590,575 | △348,557 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|--------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △12,600 | △12,600 |
| 定期預金の払戻による収入 | 12,000 | 12,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △100,118 | △108,561 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △26,208 | — |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,926 | 85 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4,992 | △7,561 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,610 | △1,637 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 1,500 |
| 保険積立金の積立による支出 | △5,680 | △3,544 |
| 保険積立金の解約による収入 | 34,490 | 1,142 |
| その他の収入 | 3,248 | 87 |
| その他の支出 | △1,899 | △2,113 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △101,445 | △121,202 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △963,900 | — |
| 長期借入れによる収入 | 1,000,000 | 40,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △353,522 | △143,818 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △20 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △5,200 | △7,800 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △322,622 | △111,638 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △2,189 | △8,864 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,164,318 | △590,262 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,194,691 | 2,359,009 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,359,009 | 1,768,747 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」27,669千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」51,793千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社のセグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別に当社及び主要連結子会社を置き、当社及び主要連結子会社は取り扱う製品・サービスについて戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは当社及び主要連結子会社を基礎とした製品・サービス別事業セグメントから構成されており、「産業機械事業」「建材機械事業」の2つを報告セグメントとしております。

「産業機械事業」は基板プレス・新素材プレス・ラミネータ・樹脂成形装置、FAシステム機械等、「建材機械事業」は合板プレス・合板機械等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2017年7月1日 至2018年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 連結財務 諸表計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------------------|
| | 産業機械事業 | 建材機械事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 3,585,879 | 1,255,802 | 4,841,682 | 135,771 | 4,977,454 | — | 4,977,454 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 2,342 | — | 2,342 | 43,743 | 46,085 | △46,085 | — |
| 計 | 3,588,221 | 1,255,802 | 4,844,024 | 179,515 | 5,023,539 | △46,085 | 4,977,454 |
| セグメント利益 | 257,762 | 215,763 | 473,526 | 12,315 | 485,841 | △4,692 | 481,149 |
| セグメント資産 | 3,274,833 | 920,215 | 4,195,049 | 208,718 | 4,403,767 | 2,478,018 | 6,881,786 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 66,062 | 9,757 | 75,819 | 1,211 | 77,031 | — | 77,031 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加 | 88,536 | 9,880 | 98,417 | 4,090 | 102,507 | — | 102,507 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器の製造販売事業であります。事業区分は、内部管理上採用している区分をベースに、事業の種類・性質等の類似性を考慮して区分しております。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去又は振替高であります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去又は振替高△3,413千円、各報告セグメントに帰属しない全社資産2,481,432千円であります。全社資産は、主に当社での現金及び預金、投資有価証券、管理部門に係る資産等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自2018年7月1日 至2019年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 連結財務 諸表計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------------------|
| | 産業機械事業 | 建材機械事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 3,889,339 | 1,350,794 | 5,240,134 | 168,501 | 5,408,635 | — | 5,408,635 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 849 | — | 849 | 52,814 | 53,663 | △53,663 | — |
| 計 | 3,890,188 | 1,350,794 | 5,240,983 | 221,315 | 5,462,299 | △53,663 | 5,408,635 |
| セグメント利益 | 321,305 | 238,751 | 560,056 | 18,347 | 578,403 | △1,875 | 576,528 |
| セグメント資産 | 3,623,075 | 1,280,807 | 4,903,882 | 213,842 | 5,117,725 | 1,961,433 | 7,079,159 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 75,524 | 12,268 | 87,793 | 1,674 | 89,467 | — | 89,467 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加 | 61,083 | 53,193 | 114,277 | 1,711 | 115,988 | — | 115,988 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器の製造販売事業であります。事業区分は、内部管理上採用している区分をベースに、事業の種類・性質等の類似性を考慮して区分しております。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去又は振替高であります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去又は振替高△4,722千円、各報告セグメントに帰属しない全社資産1,966,156千円であります。全社資産は、主に当社での現金及び預金、投資有価証券、遊休資産及び管理部門に係る資産等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失

(固定資産に係る重要な減損損失)

「産業機械事業」において、当社が所有する事業用資産の一部が遊休となったため、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当連結会計年度において247,496千円であります。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 199円 99銭 | 220円 74銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 35円 31銭 | 20円 95銭 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) |
|----------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 270,012 | 160,238 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 270,012 | 160,238 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 7,647 | 7,647 |

(重要な後発事象)

1. 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分

当社は、2019年8月19日開催の取締役会において、繰越利益剰余金の欠損を填補し、財務内容の健全化を図るとともに、株主還元を含む資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、2019年9月26日開催予定の第63期定時株主総会に、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を付議することを決議しました。詳細につきましては、本日公表の「資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 特定子会社の異動

当社は、2019年8月19日開催の取締役会において、当社がその発行済株式総数の48.0%を保有する、当社連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社の全株式を同社に譲渡することを決議しました。詳細につきましては、本日公表の「特定子会社の異動及び中期経営計画の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

役員の変動

- ① 新任予定の監査等委員である取締役候補
小林由和(現 執行役員財務部長)
- ② 退任予定の取締役
北川義行(現 取締役相談役)
岡野 宏(現 監査等委員である取締役)
- ③ 就任及び退任予定日 2019年9月26日